

# 6年1組

# 図画工作科(季節を屏風に表そう)

平成28年7月5日(火)2校時

## 草木の実物を見て色や筆使いを工夫しました。

### ①本時のめあてを確かめる

前時に何も見ないで想像で描いた草木の絵を紹介して、本時は本物の草木をよく見て、そっくりに描くことがめあてであることを確かめました。

### ②草木をよく見て描く

班ごとに横1列になり、草木をよく観察して障子紙に描きました。葉の形や固さに合わせて水の量を変えたり、葉の色に合わせて黄色と青の絵の具の割合を変えたりしました。

グループ

### ③場所を移動して2つ目の草木を描く

隣の班の場所に移動し、友だちが描いた作品の横に同じ草木の絵を描きました。友だちの作品を意識しながらも、自分らしい作品を仕上げていました。

グループ

### ④工夫したところや友だちの作品のよいところを発表する

2つの草木を描いた感想を発表しました。想像して描いたときには気付かなかった葉っぱの形や色に気付いたことや、すぐ横に描いてあった友だちの作品の特徴などが紹介されました。



教室に掲示した作品

### ①めあてを確かめる



想像で描いた草木



### ②草木を描く

黄色と青を混ぜると、本物とそっくりの緑になるよ。



### ③2つ目の草木を描く

友だちの絵は大きくて、葉の形がそっくりだな。



### ④感想を発表する

茎の部分に赤いところがあることに気付きました。

友だちの作品の横に自分の絵を描くことで、友だちの作品をよく鑑賞することができました。同じ草木を見ても一人一人描き方が違い、それが作品の個性になることに気付きました。

(実践者 教諭 高間 恵美)

### 〈感想〉

- 今まで、図工の絵で草や木を描くときは同じように緑や茶色を使っていたけれど、草木によって葉や茎の色が違って、その色を表すには絵の具を混ぜた方がよいことが分かりました。
- 大きな紙に、友だちみんなで描いて大きな作品を作ることが楽しかったです。また、共同製作をしてみたいです。